

県民の皆さんとめざす姿

地域住民、企業、NPO等のさまざまな主体が「アクティブ・シチズン」として、自主的・主体的に地域づくり活動を行うことで、特色ある地域資源を生かした自立・持続可能で元気な地域づくりが進められ、人と人、人と地域、人と自然の絆が深まっています。

現状と課題

■ 人口減少、少子・高齢化の進展、人・地域・自然の“絆”の希薄化など、県民の皆さんが幸せに暮らしていくためには、地域には多くの課題が山積しています。これらの課題に対応していくためには、これまでの経済性や効率性という観点のみでなく、全ての県民が地域づくりの担い手であることを認識し、特色ある地域資源を生かした自主的・主体的に地域をよりよくしていこうとする活動を活発にしていくとともに、企業や行政などのさまざまな主体と役割を分担し、力を合わせて新しい地域づくりを進めていく必要があります。

■ これまでも「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」に取り組んできたところですが、「コンセプトやめざす姿を伝えきれていない」、「県民の皆さんの参加・参画が少ない」、「情報発信力の不足」、「中間支援組織等との連携不足」などの課題があることから、この取組をさらに深化・発展させていくことが重要です。

変革の視点

6年間の取組を総括する集大成イベントの内容を明示することにより、「<sup>うま</sup>美し国おこし・三重」のめざす姿を県民の皆さんと共有し、取組の一体感を醸成していきます。また、パートナーグループの皆さんの行う地域づくり活動やテーマプロジェクトの情報発信力を高めて、それらの活動の自立・持続化に向けた支援を行うとともに、県民の皆さんの参加・参画を促進し、全県的な取組にしていきます。併せて、一体感や情報発信力を高めるイベント手法を活用して、平成26（2014）年の集大成に向けて、取組を展開していきます。

平成27年度末での到達目標

県内各地で、地域づくりの担い手育成が進み、自主的・主体的に地域をよりよくしていこうとする住民の皆さんによる特色ある地域資源を生かして地域の魅力や価値を向上させる活動が展開されるとともに、地域内外や分野を問わず交流・連携の輪が広がっています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
地域の活動などに参加している住民の割合	33.6%	37.6%	e-モニターを活用した調査で、地域の活動への参加状況について、「積極的に参加している」、「お付き合いで参加している」と答えた人の割合

平成24年度取組方向

- ① 「<sup>うま</sup>地域での美し国おこし」を通して、県や市町をはじめとするさまざまな主体との連携を図りながら、地域をよりよくしていこうとする住民の皆さんの地域づくり活動を支援します。
- ② イベント手法を活用し、より情報発信力を高めるなど、「テーマに基づき全県的に取り組む<sup>うま</sup>美し国おこし」にさらに注力するとともに、平成26（2014）年に実施する「集大成イベント」に向けた準備を行うことで、県民の皆さんの地域づくり活動を加速させます。

## 主な事業

### ① パートナーグループ活動支援事業（政策部）

【基本事業名：25301「地域での<sup>うま</sup>美し国おこし」の推進】

予算額：(23) 230,774千円 → (24) 144,558千円

事業概要：県や市町をはじめ、さまざまな主体で構成する実行委員会において、地域をよりよくしていこうとする住民の皆さんの活動を、プロデューサーの助言や専門家派遣、財政的支援などで支援します。

### ② （新）イベント手法展開事業（政策部）

【基本事業名：25302 イベント手法を活用した情報発信力のある取組の展開】

予算額：(23) ー 千円 → (24) 55,511千円

事業概要：地域をよりよくしていこうとするさまざまな主体の地域づくり活動を、テーマを定めて全県的・広域的に連携させ展開する「テーマに基づき全県的に取り組む<sup>うま</sup>美し国おこし」にさらに注力するとともに、6年間の取組の成果を集約・披露し、情報発信力を高め、集客・交流の拡大を図る「集大成イベント」に向けた準備を行います。